

祝辞

おめでとう

今日の空は遥かに高い

あなたとあなたはどこにでも行ける

時が止まるような流氷の上でも

ひりつくほどに稲妻のそばでも

誰も連れてかなくていい

お気に入りの空を探そう

あなたとあなたが居たのは

自ら作った鳥籠の中

ふたりで同じ設計図を見て

ふたりで別々の側から作って

不揃いな形に出来上がったすみか

今日の良き日に解体しましょう

細い骨組みの一本一本

夜九時には冷めているカレー

派手過ぎたプレゼントの指輪

効かない眠剤とラベンダーのアロマ

ひとりで過ごした地震の夜

どれだって世界に二つとないゆがみ

隣にできた体ひとつ分の空間を

色のない風が過ぎるでしょう

痛くありませんように

少しひんやりするだけでありますように

いいんだよ もういいんだよ

ひたすらに澄んでいるこの空がすべてだよ

皺になった心が夏の陽を受ける

光も影もうつくしく

いいんだよ 思うままでいいんだよ

自分の空ではばたく姿がわたしは見たいよ

深く息を吸って長く吐いて

その翼ならまだ飛べる

飛び立つすべての鳥たちに

何百もの花束を投げていきたいと思います。